

第七十四回帝國議會
衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第十三回

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案
(政府提出)

會議

昭和十四年三月三日(金曜日)午後二時二十
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事河野 一郎君

理事土田 莊助君 理事中野 寅吉君

理事大石 倫治君

森田重次郎君 坂下仙一郎君

服部 英明君 遠山 房吉君

坪山 德彌君 小笠原八十美君

池田七郎兵衛君 服部 岩吉君

陣 軍吉君 山崎 常吉君

野溝 勝君 三木 武夫君

小野 謙一君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 中村 明人君

農林參與官 林 讓治君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府
提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、軍馬資
源保護法案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時
特例ニ關スル法律案、此ノ三案ヲ一括致シ
マシテ討論ニ付シマス——佐藤君

○佐藤委員 私人政黨ヲ代表シテ本委員
會ニ付託セラレマシタル軍馬資源保護法案、

種馬統制法案、竝ニ競馬法ノ臨時特例ニ關
スル法律案ノ三案ニ付キマシテ、我々同志

ノ意見ヲ開陳致シタイト思ヒマス、是等ノ
法案ハ殆ド本邦馬政ノ根本的立直シトモ稱

スベキ、本期議會ニ提案セラレマシタル法
法中ノ最も重要ナルモノデアリマシテ、隨

テ委員會ヲ開會スルコト十二回ノ多キニ及
ビマシタ、其ノ間委員各位モ、政府當局モ、

熱心眞率ニ質疑應答ヲ重ネラレマシテ、
是等法案ノ企圖スル所、民間ノ希望スル所

等方略、闡明セラレマシタコトハ、洵ニ欣幸
トスル所デアリマス、委員各位ヨリノ政府

ニ對スル希望等ニ付キマシテ、或ハ豫算等
ノ關係モアツタデアリマセウガ、尙ホ十分

アリマス、是等ハ漸次改善セラレテ民間當
業者ノ苦痛ヲ除去シ、以テ本邦馬政ノ鞏固
ナル基礎ヲ樹立セラレンコトヲ希望シテ已
マナイ次第デアリマス

緒テ是等三案ノ中、種馬統制法案竝ニ競
馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ二案ニ

付キマシテハ、種馬統制法ハ年來民間ノ希
望致シテ居リマシタル種馬ヲ國有ニ統一シ、

產馬ノ根本計畫ヲ樹立セントスルモノデア
リ、競馬法ノ此ノ改正モ時局柄已ムヲ得ザ

ルコトト存ジマシテ全然政府ノ提案ニ同意
ヲ致ス次第デアリマス

唯軍馬資源保護法ニ於キマシテハ、委員
會ニ於キマシテモ最モ議論ノ焦點ト相成リ

マシタルモノデ、本法ノ運用如何ニ依リマ
シテハ馬政ノ根本ニモ影響ヲ及ボスモノ

デアリマシテ、熱心ニ質疑應答ガ重ネラレ
タノデアリマス、細目ニ互リ詳細ニ檢討セ

ニ付テ、之ニ地方稅ヲ賦課スベキモノニア
ラズト爲ス殆ド委員全體ノ意向ニ對シテ、
政府ノ同意ヲ得ルコトガ出來ナカツタコト

ハ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、是ニ於テ
吾々ハ已ムヲ得ズ競馬法ニ於テ是等ノ規定

ヲ成文トシテ其ノ趣旨ヲ明ニシテ居リマス
モノニ倣ヒ、軍馬資源保護法第十一條第四

項トシテ左ノ一項ヲ加ヘマシテ、之ヲ修正
可決セント致ス次第デアリマス、即チ

鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優
等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ

交付又ハ受領、其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又
ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

〔拍手〕

簡單ニ其ノ修正ノ理由ヲ申上ゲマス、元
來鍛鍊馬競走ニ於キマシテ地方稅ヲ課シテ

モ現在ノ地方競馬トハ其ノ根本ニ於テ違ッテ居ル譯デアリマス、又公認競馬ハ其ノ賣得金ガ合計二億圓ニモ近クナツテ居リマスノニ、鍛鍊馬競走ニ於キマシテハ吾々ノ計算スル所ニ依リマス、一千万圓乃至千五百万圓ニハ達シナイダラウト思フノデアリマス、其ノ公認競馬デアリマシテサヘモ地方税ハ現在ニ於テハ賦課セラレテ居リマセヌノニ、軍馬資源ノ目的デアリマス鍛鍊馬競走ニ地方税ヲ賦課スルト云フコトハ不當デアルバカリデナク、之ニ依リマシテ鍛鍊馬競走ノ施行ヲ不可能ナラシメマシテ、強ヒテ之ヲ施行セシメヨウト致シマスレバ、主催團體ノ經濟ヲモ破壊スル虞ガ種々アルコトト存ズルノデアリマス、又公認競馬ハ政府ニ一定額ノ納付金ヲシテ居ルノデアルカラ、地方税ハ取ツテモ宜イデハナイカト云フガ如キ説モ聞クノデアリマスケレドモ、是ハ私共ハ全ク違ッテ居ルト思フノデアリマス、此ノ法ノ目的トシマス所ハ鍛鍊馬競走カラ中央會ニ一定ノ金額ヲ納付セシメマシテ、之ニ依リマシテ政府ノ所期スル所ノ目的ニ之ヲ使用セシメヨウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ中央會ニ納メマス納付金ト云フモノハ、恰モ公認競馬ニ於キマスル所ノ政府納付金ト、

其ノ性質ニ於キマシテハ殆ド違ヒノナイモノデアルト私共ハ存ジテ居ルノデアリマス、ソレニ地方税ガ尙ホ賦課セラレルト云フコトニナルト、所謂ハ二重負擔ト云フコトニナリマシテ、競馬ノ開催ヲモ危カラシムルト云フコトニ相成ルト存ズルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ此ノ法案ノ議論中ニモ種々出タノデアリマスガ、馬ニ關スル費用ハ決シテ十分デハナイノデアリマス、隨テ民間ニ於キマシテハ馬ニ關スル費用ノ一錢一厘デモ多カラシコトヲ希望シテ居リマス際ニ、斯ノ如キ方面ニ資金ヲ流出セシメ、サウシテ所謂地方税ヲ課スルト云フコトハ、馬事振興ノ上ニ取ツテ重大ナルコトト考ヘマス、彼此相考ヘマシテ、地方税ヲ賦課スルコトハ不當ト存ズルノデアリマシテ、此ノ修正ヲ致サントスル次第デアリマス

○委員長 坪山君

○坪山委員 私ハ只今議題トナツテ居リマス此ノ軍馬資源保護法案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ三案ニ對シマシテ、立憲政友會ヲ代表シマシテ意見ヲ開陳致シタイト思ヒマス、即チ軍馬資源保護法案ノ中第十一條ノ第四項トシテ左ノ一項ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、只今民政黨ノ佐藤君ノ意見ノ御開陳ガアリマシ

タガ、ソレト同様デアリマスガ鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領、其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス

ト云フ、之ヲ加ヘテ修正ヲ致シタイト思フノデアリマス、其ノ他ノ部分ニ對シマシテハ原案ニ贊成デアリマス、此ノ際茲ニ其ノ修正ノ理由ヲ開陳スルト共ニ、二三ノ希望意見ヲ申述ベマシテ、其ノ贊成ノ意ヲ明ニ致シタイト思フノデアリマス

第二次馬政計畫ガ實施セラレテ幾許モアラザルニ、假令今次事變ノ實蹟トハ申シナガラ、其ノ計畫變更ヲ餘儀ナクセラレタコトニ對シテハ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、屢、其ノ計畫ヲ變革シ、之ニ依ツテ生ズル犧牲ヲ關係地方民ニノミ強フルガ如キ事ガアツテハ斷ジテ相成リマセヌ、常ニ有ル角度ヨリ研究調査ヲ遂ゲ、一度方針確定、實施ノ曉ニハ、萬難ヲ排シテ之ヲ斷行シ、濫ニ變革ヲ行フガ如キハ嚴ニ戒ムベキコトデアルト思ヒマス、本法案實施ニ當リマシテハ、常ニ國民ノ協力特ニ馬事團體、馬ノ生産並ニ育成地方ノ理解アル協力ヲ得ルニアラザレバ、到底所期ノ目的ヲ達成シ得ザルコトヲ覺悟シナ

ケレバナリマセヌ時局愈々重大ナルノ秋、一切ノ行掛リヲ捨テ、官民一體、本法案ノ眞ノ目的達成ニ邁進致サナケレバナラナイト確信ヲ致シテ居リマス、馬ガ我國國防上、産業上極メテ重要ナル役割ヲ持ツテ居リマスコトハ、今更ニ多言ヲ要シナイノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シタナラバ、軍馬ナクシテ國防ノ完壁ヲ期シ難ク、馬ナクシテ我國産業、殊ニ農業ハ成立ツモノデアリマセヌ、常ニ其ノ生産ヲ確保シ、内地保有馬ノ維持ニハ一段ノ努力ガ必要デアリマシテ、ソレガ爲ニハ優良種馬ノ選定ヲ誤ラズ、特ニ種牡馬ニ付テハ相當ノ犧牲ヲ忍ンデモ、優良種馬ノ獲得ニ意ヲ用ヒ、目的達成ニ邁進セラレタインデアリマス、換言スルナラバ種馬政策ノ確立ヲ希ウテ止マナイノデアリマス、又政府ノ貸付シタル種牡馬若クハ候補種牡馬ヲ飼養スル者、或ハ優良種牡馬若クハ候補優良種牡馬ヲ飼養スル者ニ對シ補助金ヲ相當ニ増額シ、經濟的打撃ヲ與ヘザルヤウ努ムベキデアルト思ヒマス、從來種付セザル牝馬ニ對シテモ、更ニ進ンデ其ノ種付ヲ指導シ、積極的助成ノ途ヲ講ジ、大イニ生産擴充ヲ圖ルト共ニ、本法案施行ノ結果當然大ナル影響ヲ蒙ル輕種生産地方ニ對シテハ、

特ニ經濟的損失ヲ蒙ラザルヤウ特別ナル考慮ヲ拂フ必要アリト考ヘラレマス

外地竝ニ日滿ニ互ル馬政國策遂行ノ結果、將來荷モ内地馬政ニ大ナル影響壓迫ガアツテハナリマセヌ、馬政ノ衝ニ當ル者深ク留意スベキ事柄デアルト信ジマス、本法案目的達成ノ爲ニハ、馬産試驗局ノ設置ハ急務中ノ急務デアルト確信ヲ致シテ居リマス

馬ガ一ノ活兵器デアリマスコトハ今更論ヲ俟タヌノデアリマス、然ルニ他ノ兵器製造工業ニ比ベテ經濟上甚ダ惠マレザル狀態ニ置カレテアリマスコトハ、洵ニ其ノ當ヲ得ザルモノト言ハザルヲ得マセヌ、物價指數ヨリ之ヲ見マシテモ、他ノ諸物價ニ比較シテ餘リニモ適正ヲ缺クヤノ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、馬ノ生産竝ニ育成地方ノ實情ニ照シ、特ニ軍馬ノ購買等ニ當ツテハ、價格ノ引上ニ向ツテ考慮ヲ煩ハス必要アリト考ヘラレマス、常ニ適正妥當ナル馬ノ價格ノ維持、取引上ノ改善、牛馬商ノ指導、監督等ハ我國産業ノ振興、軍馬資源ノ確保、生産竝ニ育成者ニ取ツテ極メテ重大ナル問題デアルトハ多言ヲ要サナイノデ、速ニ適正ナル對策ヲ講ズル必要アリト認ムル次第デアリマス

又生産費ノ低減、即チ經濟界ノ變動ハス

諸物價ノ急激ナル暴騰ヲ招來シ、爲ニ馬ノ生産育成上甚ダシキ困難ニ直面致シツツアルノデアリマシテ、馬ノ飼料ノ如キハ極端ナル品不足ノ爲、當業者ノ窮況察スルニ餘リアルモノガアリマス、是ガ圓滿ナル配給、價格ノ引下ヲ斷行スルト共ニ、他面ニ於テハ採草地ノ整備改善、放牧地ノ擴大、充實、思ヒ切ツタル國有地ノ開放等ハ特ニ喫緊事デアルト考ヘラレマス

保有馬維持ノ爲ニハ馬ノ保健衛生施設ニ大イニ意ヲ用フベキデ、殊ニ事變勃發以來、獸醫師ノ激減ハ保健衛生上洵ニ憂慮スベキ現狀デアリマス、是等ノ補充對策ニ對シテモ速ニ適當ナル方策ヲ執ラレ、馬政ノ上ニ萬違算ナキヲ期スベキデアルト思ヒマス

今次事變ノ結果ハ馬ノ飼養管理ノ上ニ於テモ大ナル改善ヲ要スル點決シテ少クハナイト確信ヲ致シテ居リマス、特ニ國民馬事知識ノ向上普及ニ關シテハ、今回ノ得難キ尊キ經驗ニ鑑ミ、一大決心ノ下ニ是ガ徹底ヲ期スベキデ、其ノ取扱ニ付テハ、學校其ノ他青少年教育機關、農事關係團體等ニ馬事教育ヲ施スコトハ勿論、進ンデ軍事教練、青年訓練等ノ必須課程ト爲スニアラザレバ、其ノ實績ヲ擧ゲ得ナイト確信致シテ居リマス

軍用保護馬ニ對スル一箇年三十七圓ノ助成金、一日三十五錢ノ日當ノ如キハ、現在ノ實情ニ即セザルモ甚シト言ハザルヲ得マセヌ、是ガ増額ヲ要望シテ止マナイ次第デアリマス 鍛鍊ノ時期、其ノ日數ノ如キモ特ニ地方ノ實情ヲ參酌シテ、農閑期ヲ利用シ、出來得ル限り農民ノ負擔ヲ輕減スルコトヲ忘レテハナリマセヌ、サナキダニ、今ヤ軍事工業發展ノ結果ハ、勞働力ノ都會集中ヲ見マシテ、地方農村ハ動トモスレバ是ガ爲ニ極端ナル勞力不足ヲ告ゲンツル現況デアリマス、是ガ實施ニ當リテハ十分ナル注意ガ肝要デアリマス、多年我國馬事ノ上ニ貢獻シ來マシク地方競馬廢止ノ結果ハ、直チニ地方馬事團體、竝ニ馬事施設費ノ上ニ影響スルコト甚大ナルモノガアリマス、宜シク是ガ助成ノ途ヲ立テ、違算ナキヲ期スベキデアリマス

從來ノ地方競馬出走馬ノ取扱ニ對シテハ出來得ル限り之ヲ軍用保護馬ニ指定シ、狀況ニ依リ當分少クトモ其ノ三分ノ一ノ程度ノ他管區出走ヲ認め、飼育者ノ蒙ル損害ヲ最小限度ニ止ムベキデ、又競馬場廢止ノ結果ハ、當然巨額ナル負債ノ整理、補償ヲ必要トスルノデアリマシテ、是ガ整理、補償ニ當ツテハ急速ニ之ヲ實行シ、地方馬事

團體ヲシテ喜ンデ本法案遂行ニ一致協力シ得ル機會ヲ與ヘラレンコトヲ切望シテ止マナイ者デアリマス、開催日數ノ四日、又優等馬票ノ金額三圓ハ地方ノ實情ニ依リ其ノ日數ヲ六日マデ、金額ハ一圓乃至五圓ト爲スベキガ當ヲ得タモノト思ハレマス

鍛鍊馬競走施行者ガ發行スル優等馬票ニ對シ地方稅ヲ課セシトスルガ如キハ、其ノ矛盾モ甚シト言ハザルヲ得マセヌ、公認競馬ニ於ケル馬券ト何等異ナル點ナキ優等馬票ニ對シ、強ヒテ課稅ヲ爲シ、經濟上、軍用鍛鍊馬競走ヲ根本的ニ施行不能ニ陷レントスルガ如キニ至ツテハ、本法施行ノ大目的、國防ノ完備ヲ期スル上ニ於テ洵ニ遺憾トスルモノデアリマス、殊ニ一方ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ中央會ニ納付金ヲ納付セシメ、公認競馬ニ地方稅課稅ノ途ナキニ拘ラズ、國軍ガ特ニ要求シツツアル軍用鍛鍊馬競走ニノミ課稅セントスルガ如キハ、其ノ眞意那邊ニアルヤ疑ハザルヲ得ンノデアリマス、其ノ名義ノ何タルヲ問ハズ、施行者ニ更ニ負擔ヲ加重セシムルガ如キコトアツテハ、全國大半ノ鍛鍊馬競走ハ決シテ成立ツモノデハアリマセヌ、現在ニ於テスラ巨額ノ負債ニ惱ミ、如何ニシテ是ガ整理ヲ行ハンヤト日夜呻吟致シツツアル實情

デアル點ニ鑑ミ、國防産業上ヨリ寧ロ進シ
デ保護助成ヲ加ヘ、本法施行ノ目的ヲ一日
モ速ニ達成セシムルコトコソ、現下ノ國際
情勢ニ照シ執ルベキ最善ノ途デアルト深ク
信ジマス、是レ修正ヲ加ヘタル根本ノ理由
デアリマス、新ニ成立セントスル軍用保護
馬中央會ト帝國馬匹協會トノ提攜協調ニ關
シテハ將來一段ノ注意ヲ喚起シテ止マナイ
モノガアリマス、本法施行ノ結果ハ市町村
ノ蒙ル負擔モ決シテ尠クハナイト確信ヲ致
シテ居リマス、今ヤ事變發生以來市町村事
務ハ急激ナル増加ヲ辿リ、加フルニ負擔ニ
於テモ驚クベキ増額ヲ餘儀ナクセラレツツ
アルノ現況デアリマシテ、是ガ助成ニ付テ
ハ特ニ深甚ナル考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマ
ス、之ヲ要スルニ本法案ハ我國、國防上、産
業上、極メテ重大ナル案件デアリマス、是
ガ施行ニ際シテハ官民一致協力、其ノ目的
達成ノ爲最善ノ努力ヲ致スベキデアルト信
ジマス

終リニ私ハ今次ノ聖戰ニ從軍シ、忠勇ナ
ル將兵ノ下ニ默々トシテ日夜劇務ニ服シ、
皇軍ノ光輝アル戰果ヲ扶助シツツアル軍馬
ノ勞苦ヲ思ヒ、併セテ戰病歿軍馬ニ對シ感
謝ノ意ヲ表スルト共ニ、銃後ノ産業ニ從事
シツツアル馬ニ對シ同情ノ誠ヲ捧ゲタイト

思ヒマス、以上ヲ以チマシテ軍馬資源保護
法案ニ對シテ一部修正ヲ加ヘルト共ニ、其
ノ他ノ部分ニ對シテ贊成ノ理由ヲ明ニ致シ
タ次第デアリマス(拍手)

○中野委員 私ハ軍馬資源保護法案、種馬
統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律
案、此ノ政府ガ提出サレタ法案ニ對シテハ、
今佐藤謙之輔君、坪山徳彌君ヨリ意見ヲ述
ベラレマシタノデ、大體ノ理窟ハ盡キテ居
ルト思ヒマス、又只今軍馬資源保護法案第
十一條第四項トシテ佐藤、坪山兩君ノ述ベ
ラレマシタ修正ノ意見ニ對シテハ、第一議
員俱樂部ヲ代表シテ贊成スル者デアリマス、
此ノ修正ハ洵ニ穩當ナ修正デアリマス、而
シテ此ノ三法案ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、
官民協力シテ當ラナケレバナライノデア
リマス、農林省モ、陸軍省モ、內務省モ、
大藏省モ、皆之ニ快ヨク御同意アルコトト
堅ク信ジマス、若シソレニ不平ヲ唱ヘルヤ
ウナ者ガアツタトスルナラバ、是ハ現内閣
ノ一枚看板デアアル總親和ヲ破リ、又國民總
意ノ要求ヲ蹂躪スルヤウナ結果ニナラスト
モ限リマセス(拍手)其ノ意味デ私ハ今ノ坪
山君佐藤君ノ意見ト同様ナ意見デ贊成ヲス
ル者デアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス
(拍手)

○野澤委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ
シテ贊成意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今
度政府カラ提案サレマシタ軍馬資源保護法
案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關
スル法律案、以上ノ三法律案ニ對シマシテ
大體贊成ヲスル者デアリマスガ、唯一點、
軍馬資源保護法案中ノ第十一條ニ第四項ヲ
追加スルト云フ佐藤サンノ修正動議ニ對シ
マシテハ、私モ亦同感デアリマシテ、之ニ
贊成ヲスル者デアリマス、只今ノ修正動議
ヲ政府ガ採用サレルナラバ、以上三法律案
ニ對シマシテハ、滿腔ノ敬意ヲ以テ贊意ヲ
表スル者デアリマス、最後ニ社會大衆黨ヨ
リノ希望意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、即
チ希望條項ト致シマシテ左ノ五點ヲ擧ゲテ
置キマス

希望條項
一、畜産經濟確立ノ爲ニ飼料ノ廉價配給制
ヲ速ニ樹立セラレタシ
二、馬政計畫ノ圓滑ナル發達ヲ期スル爲ニ
速ニ國有林及ビ林牧混淆地ヲ開放セラレ
タシ
三、有畜農業ヲ擴充強化スル爲メ馬小作制
度ノ改廢ニ資スベク馬購入資金簡易融通
ノ途ヲ講ゼラレタシ
四、馬飼育者直接指導機關タル畜産組合ノ

刷新ト擴充ノ途ヲ速カニ講ゼラレタシ
五、馬事育成並ニ衛生ニ對スル指導者タル
獸醫師ノ養成並ニ地位ノ向上ニ格段ノ注
意ヲ拂ハレタシ
以上五點ノ希望ヲ申上ゲマシテ、社會大
衆黨ヲ代表シテ、政府提出ノ法律案ニ對ス
ル修正動議ニ付キマシテ贊意ヲ表スル者デ
アリマス(拍手)

○三木委員 私ハ第二控室ヲ代表致シマシ
テ、佐藤氏ノ修正動議ノ、軍馬資源保護法
案中ノ第十一條第四項ノ地方稅賦課ニ關スル
附加修正ニ贊意ヲ表スル以外ハ、三案トモ
原案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマ
ス、唯今回ノ三法案ヲ通觀シテ、國防上已
ムヲ得ザルモノデアルト云フコトニ對シ
テハ、十分ナル認識ヲ持ツノデアリマス
ガ、此ノ新馬政計畫ガ單ナル臨時立法デナ
イコト、永久的ナ馬政計畫デアルト云フ
コトヲ御發表ニナツテ居ル以上ハ、産業政
策的ニモ馬政計畫ヲ遂行ヲ御考ニナラナケ
レバ、一旦必要ノ場合ニ於キマシテハ國防
的ナ使命ヲ果スノデアアルケレドモ、其ノ常
ニ培養スル母體ハ地方産業的母體ノ上ニ、
此ノ馬政計畫ノ成否ガ決セラレルノデア
ルト云フコトヲ考ヘタ時ニ、將來此ノ馬政計
畫ヲ遂行シテ行ク上ニハ、或ハ地方ノ農家

ニ對スル資金融通ノ途ヲ考ヘル、又家畜保險ヲ單ナル損害保險ト云フ見地デナクシテ、一ツノ社會保險ト云フ見地ニ於テ御考慮ニ相成リ、或ハ又飼料トカ牧野ノ點ニ付キマシテ、是ガ低廉ニ且又理想的ニ利用ノ出來ル途ヲ講ゼラレテ、農家ニ他ノ家畜ヲ飼養スルヨリモ、或ハ又スルト同様ニ、何等ノ經濟的ナ負擔或ハ損害ヲ與ヘズシテ、喜ンデ此ノ新馬政計畫ニ協力出來ルヤウナ方法ヲ御執リニナラナケレバ、馬政計畫ノ成功ハ私ハ出來ナイト思ヒマス、國防の必要カラ急速ニ此ノ案ヲ御立テニナツタ結果、産業的ニ新馬政計畫ヲ御覽ニナツテ、或ハ又ソレニ關スル施設、或ハ政府ノ考慮ノ方法ガ、私ハ足りナイト思フ、冀クハ此ノ點ニ付テ十分ナル御研究ト、萬遺憾ナキヲ希望シテ、修正ノ動議ニ對シテ贊成スルト同時ニ、三案ニ對シテ政府原案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

テ短簡ニ私ノ意見ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス
日露戰爭ノ貴重ナル體驗ニ依リマシテ確立サレマシタ第一次馬政計畫、即チ明治三十九年カラ昭和十一年マデ三十箇年間實施ヲシタ其ノ馬政計畫ハ、國家馬政ニ、産業國防ノ上ニ、相當ナル貢獻ヲシ、成績ヲ擧ゲ得タコトハ、政府ト雖モ勿論之ヲ否定シ得ナイデアヲウト考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ今回突如トシテ第二次馬政計畫ノ實施半バニシテ、之ヲ變更セラレマシタコトハ、少クトモ政府ガ第一次馬政計畫ノ國防ニ關スル限り失敗ナルコトヲ自ラ御承認ニナラレタコトヲ、私ハ非常ニ遺憾トスル者デアリマス、今次事變ノ體驗ニ依リ計畫ノ變更ト申シマシテモ、私ハ先般ノ質疑ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、僅ニ一年カ一年半ノ短イ經驗デアル、且又微發馬ノ成績ガ不良デアツタト申シマシテモ、ソレハ其ノ動因タルヤ單ナル馬ノ素質機能バカリニ非難ノ焦點ヲ集中スベキデハナイト思ヒマス、殊ニ御承知ノ通り、馬ニハ強イ馴化性ノアルモノデアリマシテ、相當ノ方法ニ依リ、相當ノ期間ヲ經過シマスレバ、大抵ノ處ニハ馴レ得ルノデアリマス、隨テ私ハ先般申上ゲマシタヤウニ、モウ少シ長イ經驗ニ依ツ

テ、戰局ガ北支カラ中支、更ニ南支方面ニ擴大シテ居ル現状デアリマスカラ、戰爭ノ大局ノ上カラ是等ノ戰績ヲ綜合大觀シテ、馬ノ調査成績ガ完了シタ上デ、徐ニ第二次馬政計畫ヲ變更シテモ遅クハナイノデハナイカ、今度ノ新計畫ノ發表ハ餘リニ早計デハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今日尙ホ其ノ感ヲ深ウスルノデアリマス、併シナガラ先般陸軍大臣ガ自ラ部隊長トシテ、大變馬ニ對シテハ苦イ御經驗ヲ嘗メラレタト云フ御言明モアリ、且又今度ノ計畫ハ恆久性ヲ持ツ、不動ノモノデアルト云フ御言明モアリマシタノデ、大臣ノ言明ニ敬意ヲ表シ、之ニ信賴ヲ致シマシテ、私ハ修正ノ點ヲ認メマシテ、軍馬資源保護法案ニ贊成ヲスル次第デアリマス、他ノ二案ニ對シマシテハ先刻申述べマシタヤウニ、事變下必要ナル立法トシテ、無條件デ贊意ヲ表スル者デアリマス

護法案第十一條ニ一項ヲ加フル修正案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔總員起立〕
○東委員長 滿場一致可決致シマシタ〔拍手〕次ニ修正案ヲ除キタル原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔總員起立〕
○東委員長 全會一致可決致シマシタ〔拍手〕次ニ種馬統制法案並ニ競馬法ノ臨時條例ニ關スル法律案ヲ一括シテ採決致シマス、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔總員起立〕

○東委員長 滿場一致可決致シマシタ〔拍手〕本委員會ハ委員會ヲ開クコト茲ニ三十三回ニ及ビマシタ、委員諸君ハ熱心且ツ至誠ヲ披瀝シテ此ノ審議ヲ遂ゲラレマシタ、又政府委員諸君モ熱心ニ誠意ヲ披瀝シテ、質問應答ヲ重ネラレタノデアリマスルガ、之ニ對シテハ委員長ハ特ニ此ノ席ヨリ謝意ヲ表シマス、終リニ臨ミマシテ、只今滿場一致贊成可決サレマシタ修正條項ガ、無事ニ貴族院ヲ通過スルモノト信ジマスガ、萬一貴族院ガ修正ニ同意ナキ時ハ、兩院協議會ヲ經ナケレバナリマセス、申スマデモナク此ノ案ハ軍事國防上ヨリ見テ極メテ重要デアリマス、故ニ委員會ハ終始一貫協調ヲ求メ

○小野委員 私ハ東方會ヲ代表シマシテ、只今議題ト相成ツテ居リマス軍馬資源保護法案ニ對シマシテハ、佐藤、坪内兩君ノ修正意見ニ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマス、更ニ種馬統制法案外一件ニ對シマシテモ、事變下ニ於ケル必要ナル立法トシテ是亦贊成ノ意ヲ表スルノデアリマスガ、此ノ際極メ

タルヤ單ナル馬ノ素質機能バカリニ非難ノ焦點ヲ集中スベキデハナイト思ヒマス、殊ニ御承知ノ通り、馬ニハ強イ馴化性ノアルモノデアリマシテ、相當ノ方法ニ依リ、相當ノ期間ヲ經過シマスレバ、大抵ノ處ニハ馴レ得ルノデアリマス、隨テ私ハ先般申上ゲマシタヤウニ、モウ少シ長イ經驗ニ依ツ

○東委員長 是ニテ討論ハ終リマシタ、採決ニ入ルニ先ダツテ、其ノ順序ヲ申上ゲテ置キマス、先ヅ軍馬資源保護法案ノ修正案ノ採決、次ニ修正案ノ殘ノ原案ノ採決、次ニ種馬統制法案、競馬法ノ臨時條例ニ關スル法律案ヲ一括シテ採決致シマス、先ヅ修正案ニ付テノ贊否ヲ採リマス、軍馬資源保

護法案第十一條ニ一項ヲ加フル修正案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔總員起立〕
○東委員長 滿場一致可決致シマシタ〔拍手〕本委員會ハ委員會ヲ開クコト茲ニ三十三回ニ及ビマシタ、委員諸君ハ熱心且ツ至誠ヲ披瀝シテ此ノ審議ヲ遂ゲラレマシタ、又政府委員諸君モ熱心ニ誠意ヲ披瀝シテ、質問應答ヲ重ネラレタノデアリマスルガ、之ニ對シテハ委員長ハ特ニ此ノ席ヨリ謝意ヲ表シマス、終リニ臨ミマシテ、只今滿場一致贊成可決サレマシタ修正條項ガ、無事ニ貴族院ヲ通過スルモノト信ジマスガ、萬一貴族院ガ修正ニ同意ナキ時ハ、兩院協議會ヲ經ナケレバナリマセス、申スマデモナク此ノ案ハ軍事國防上ヨリ見テ極メテ重要デアリマス、故ニ委員會ハ終始一貫協調ヲ求メ

タノデアリマス、是ハ諸君御承知ノ通りデアリマスルガ、政府部内ニ於テハ遂ニ今日マデ一致ヲ見ルコトノ出来ナカツタコトハ、實ニ遺憾ノ至リデアルト存ジマス、今後貴族院ニ於テ民意ヲ尊重シテ、速ニ修正案ガ通過スルヤウニ、政府當局者ニ對シテ一言婆心トシテ御注意申上ゲマス、若シ萬一ノコトガアリマシテモ、委員會ハ至誠ヲ披瀝シテ今日マデ努力致シタト云フコトハ、政府ノ諸君モ御承知デアラウト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付テハ多クノ責任ハ持タレマセヌ、ドウカ此ノ席デ質問ヲ致シテ御答辯ヲ得ルト云フヤウナコトハ致シマセヌガ、出来ルコトナラバ貴族院ニ行ツテ此ノ修正案ガ無事通過スルヤウニ一段ノ努力アラシコトヲ切ニ希望シテ此ノ委員會ヲ終了致シマス、是ニテ委員會ハ全部終了致シマシタ、散會致シマス

午後三時一分散會